

【眼への投与】

動物病院で処方される眼の薬には、通常、点眼液と眼軟膏の2種類があります。点眼液は眼軟膏と比較した場合、一般的に短時間で眼内に吸収されますが、その効果時間が短いという特徴があります。また、正しく投与されなければ、十分な効果が得られません。薬によって投与量や頻度に違いがあるので、動物病院の指示に従いましょう。

ぬるま湯などに浸したコットンなどで目脂をとり除く

頭部を上方に向けて保定する

各薬剤を投与する

POINT▶協力的ではない小型犬の場合、テーブルの上で保定する

【点眼液】

下瞼を下げ、点眼剤を眼の表面に1, 2滴さす

【眼軟膏】

下瞼を下げ、眼軟膏を下瞼に沿って約1cmくらいチューブから出してつける

親指と人差し指で瞼を1, 2回開閉する

POINT▶ 眼球を圧迫しない



POINT▶ 点眼容器や軟膏のチューブの先端が角膜に触れないようにする

POINT▶ 複数の点眼液を併用する場合は投薬間隔を5分以上あける。点眼液と眼軟膏を併用する場合は点眼液を先に投与する